

低コストモデル実証団地

概要

特定母樹中苗の成長状況や、単木保護資材の活用、下刈方法の効果等を検証するためA~Kの11ゾーンを設定しています。

各ゾーンは、九州森林管理局と各研究機関が共同あるいは単独で各種調査や分析を実施しており、優良品種の検定や低密度植栽効果の検証、天然力を活用した更新、早生樹植栽など、森林整備（造林）コストの低減に向けたデータ収集等に取り組んでいます。

共同研究機関（森林総研九州支所、九州育種場、宮崎大学）

アクセス

人吉球磨スマートICより約11km（約30分）

各ゾーンの配置



実証団地全景R3年4月撮影

実証団地の位置

各ゾーンの様子



AゾーンR3年4月撮影



Bゾーン下刈後R3年8月撮影



EゾーンR3年4月撮影

森林技術・支援センターは主にA、B、Eゾーンを担当しています。